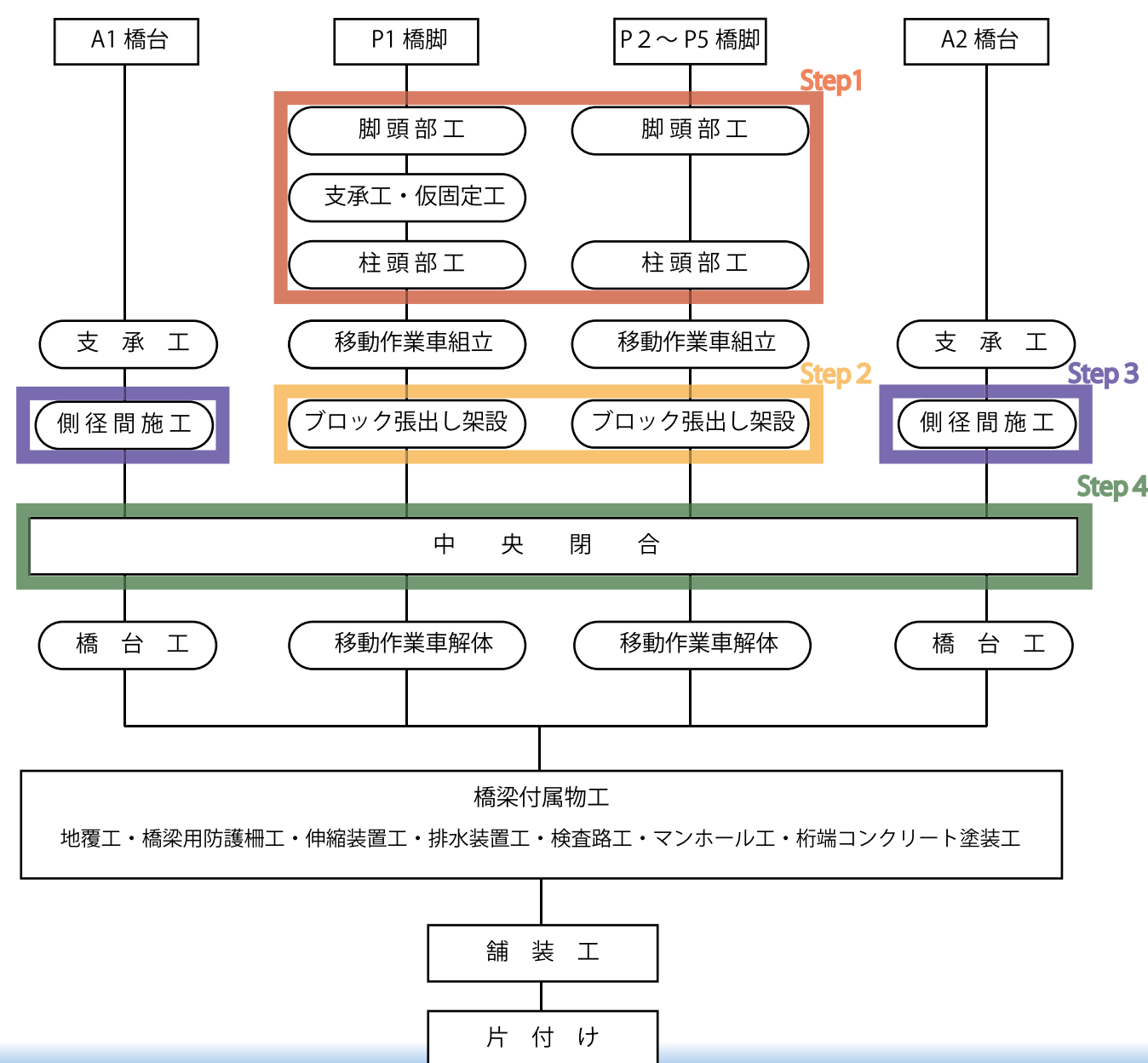


## 工事の目的・特徴

本工事は既存の城崎大橋（橋長 L=237.5m の鋼 23 径間単純鈹桁橋）の架け替え工事です。安全で円滑な交通の確保、治水安全度の向上、城崎温泉～玄武洞間のアクセス強化等による観光振興を図る目的としています。

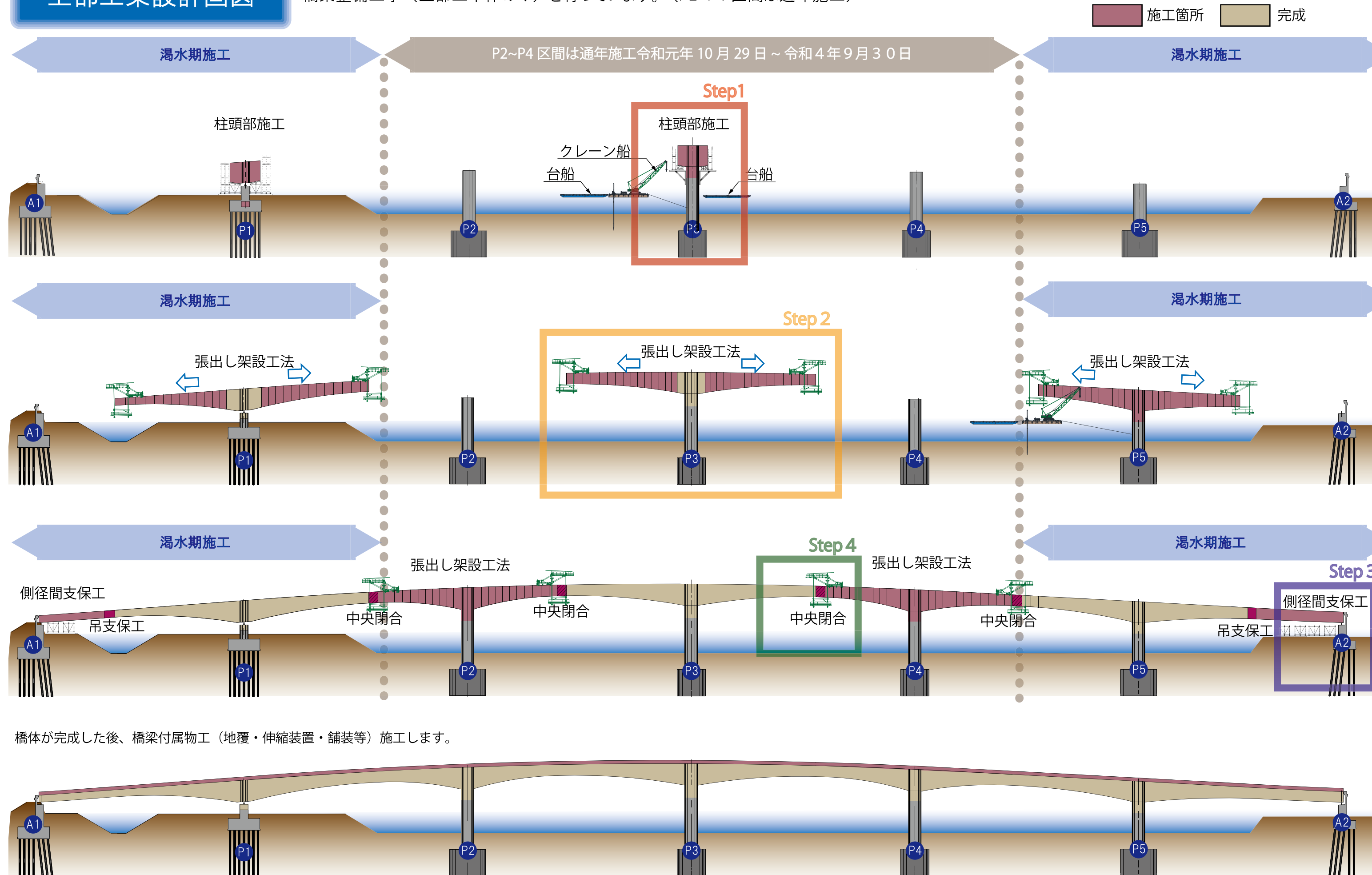
- ①河川のみを跨ぐ県管理橋では県内最長（561.5m）
- ②現橋梁より橋脚数を大幅に削減し（22 基⇒5 基）、円山川の治水能力を向上。
- ③桁高にリズムカルな変化を持たせ、城崎温泉への新たなゲートウェイに相応しいシンボリックなデザインを採用。
- ④山陰海岸国立公園内にあり、雄大で自然豊かな円山川の周辺環境や景観にも配慮した橋梁照明や高欄等を採用。

## 工事フロー



## 上部工架設計画図

橋梁整備工事（上部工本体のみ）を行っています。（P2-P4 区間は通年施工）



## 張出し架設工法

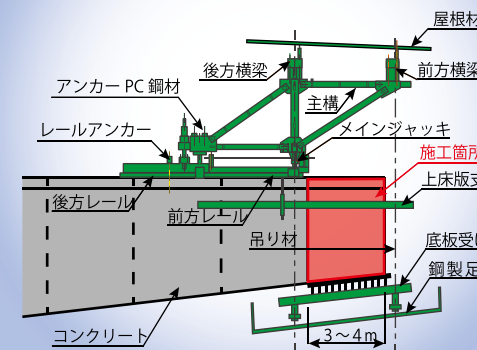
### Step 1 脚頭部・柱頭部施工



脚頭部を施工した後、ブラケット支保工を設置し、柱頭部の施工を行います。

### 移動作業車の構造

移動作業車を使用すると、屋根材が有るため雨天でもコンクリート施工が可能です。



### Step 2 張出し架設



1ブロック完了後、移動作業車を次のブロックへ移動させます。ブロック工程を繰り返し、順に進行方向へ移動し最終ブロックまで張り出します。



### Step 3 側径間支保工



A1・A2 橋台から張出し架設区間で支保工を組み立て、施工します。

### Step 4 中央閉合



全ての張出しが完了したら、中央部を施工し接合します。

### 【ブロックサイクル施工】

